

海外派遣留学生
華東師範大学
留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	4年
留学先	国	中国	大学/機関	華東師範大学
期間	2025年 9月 4日 ~ 2026年 1月 25日			
	中期		計	5ヶ月

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
8:50-9:35	商务汉语 论文 文写作			营销管理 (一)	商务阅读		
9:50-12:15			国际商务				
13:00-14:45	商务汉语 案例	微观经济 学					
14:50-16:25	商务汉语 公文 文写作	微观经济 学		中国人物 故事			

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等
クラス編成および授業方法について、クラスの人数はおおよそ 2~30人程度で構成されており、比較的少人数で授業が行われている。生徒の留学生割合を見ると、日本人が3割、韓国人が3割、ロシア人が2割と、多国籍な学生が在籍しており、国際的な学習環境が整っている点が特徴である。授業方法は日本の大学の授業と大きな違いはなく、主にパワーポイントを用いながら、教師が講義形式で説明を行うスタイルで進められる。また、授業内容は録画されており、授業後にいつでも

も視聴できるため、復習しやすい学習環境が整備されている。このように、少人数かつ多国籍なクラス編成と、復習可能な授業体制によって、学生が理解を深めやすい授業が実施されていた。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

課外活動としては、サークルなどのクラブ活動に参加しており、現地の学生と一緒にバスケットボールを行っていた。授業以外の場面で現地の学生と交流する機会が多く、友人関係を広げる良いきっかけとなっていた。また、週末の過ごし方としては、授業を通して知り合った人や寮の友人と一緒に食事に出かけることが多かった。こうした時間を通じて、学業だけでなく日常生活においても交流を深めることができ、留学生生活をより充実したものにする事ができた。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

まず、食堂は安くて美味しく、メニューの種類も豊富である点が魅力であった。好きな料理を自由に選ぶことができ、日常的に利用しやすい環境が整っていた。また、食堂には授業を通して知り合った友人と一緒に行くことも多く、食事の時間は交流を深める大切な機会となっていた。次に、図書館は主に授業の予習・復習やテスト勉強のために利用していた。静かで集中しやすい学習環境が整っており、学習を進める上で欠かせない施設であった。このように、食堂や図書館といった施設を日常的に活用することで、学習面と生活面の両方を充実させることができた。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋_2_人で使用

様子：

私は日本人学生とのルームシェアを行っており、生活面での不安を感じにくい環境であった。部屋には学習スペースも確保されており、日常的に課題や復習に取り組むことができた。また、洗濯機や乾燥機などの生活設備も整っており、日常生活に不便を感じることはほとんどなかった。さらに、宿舎内にはさまざまな国から来た交換留学生が集まる交流スペースがあり、国籍を越えた交流を深めることができた。このように、宿舎での生活は学習環境と生活環境の両面が充実しており、留学生生活を支える重要な要素となっていた

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● **楽しかったこと**：楽しかったこととしては、現地に住んでいる親戚と実際に会い、一緒に時間を過ごせた点が挙げられる。日常生活の中で親戚と交流できたことは、留学生生活をより安心感のあるものにしてくれた。また、日本で生活していたら決して出会うことのない、さまざまな国籍の学生と出会い、共

に学び、時間を過ごせたことも大きな魅力であった。多様な文化や価値観に触れることで視野が広がり、貴重な経験を得ることができた。

● **苦労したこと**：一方で、苦労したこととしては、授業スケジュールが非常に詰まっており、テストの回数も多かった点が挙げられる。日々の課題や試験対策に追われることもあり、時間管理の難しさを感じる場面が多かった。しかし、その分計画的に学習を進める力が身につき、学業面での成長につながったと感じている。

[7] 留学の成果について教えてください

1) **語学力の向上**：留学前と比べて専門分野に関する語彙や専門用語を多く習得できた点が大きな成果である。授業を通して専門的な内容を外国語で理解し、聞き取る機会が増えたことで、実践的な語学力が身についたと感じている。

2) **専門知識の向上**：ミクロ経済学やマクロ経済学など、経済学に関する基礎的かつ重要な知識を体系的に学ぶことができた。授業を通して理論的な理解を深めると同時に、経済現象を多角的に捉える視点を身につけることができたと感じている。

3) **自己成長など**：自己成長の面では、寮生活を通じて他の学生と共存する経験が大きな学びとなった。生活習慣や価値観の異なる学生と共に暮らす中で、協調性や柔軟性が身につき、日常生活の中で成長を実感する場面も多かった。このような経験から、人と関わりながら生活することの難しさだけでなく、その喜びも感じることもできた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

来年度の交換留学生へのアドバイスとして、留學生活では授業だけでなく、人との関わりを大切にしてほしい。授業はスケジュールが詰まっておりテストも多いため、早めの予習・復習と計画的な時間管理が重要である。一方で、寮生活や課外活動を通じて多国籍の学生と交流することで、語学力や価値観の幅が大きく広がる。積極的に人と関わり、困ったときは周囲に頼りながら、自分なりの留學生活を楽しんでほしい。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳	金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ 旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	0
2	中期・長期留学者のみ フライト代	40000
3	中期・長期留学者のみ 滞在費(寮費・ホームステイ代など)	140000
4	教材費	0
5	保険代	0
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	250000
7	個人的な買い物	50000
8	その他()	0
9	留学に関する費用 (1 から 8 の合計)	480000
10	受給した奨学金(奨学金名:)	80000
11	留学に関する費用総額 (上記 9 から 10 を引いた額)	400000

